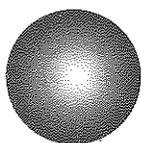
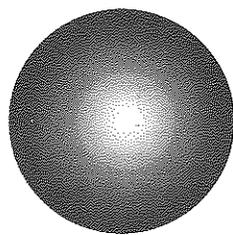


21世紀への共創

NAGASAKI YOUNG



GENERATION ASSOCIATION



完

Challenger
since

社団法人 **長崎青年協会**

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階
会長 伊藤克樹 編集●広報委員長 吉田浩文



会長あいさつ



伊藤会長 「新人研修」そして日蘭ちびっこ大使の為の「バザー」は、次年度に向けて素晴らしい成果が上げられたと思います。

長崎ランタンフェスティバルも先週で終り、青年協会では稲佐山的燈会において設営から警備・撤去まで、皆さん大変お疲れ様でした。また、ランタン期間中に行いました

社団法人
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

ところで、小学校1年生を受持つ先生の話を書く機会がありました。先生は2学期になってから、黒板を消す係とプリント類を配る係を決めようと思ひ、学級で誰がその係をするのかを話し合っていると、一人の1年生の児童が「先生、そんな係は決める必要はありません。気づいた人が黒板を消したりプリントを配ればいいじゃないですか!」と言ったそうです。先生は担当を決めたかったのですが、みんなで話し合った結果、結局係を決めないことになったそうです。その後、先生は心配していたのですが、いつも誰かが黒板を消し、プリントも配られていたそうです。

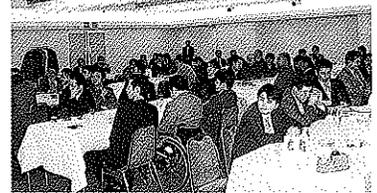
青年協会においても組織の中の役割や委員会がありますが、担当だけにこだわらず、その時の状況を判断しすすんで行動することが大切だと思います。

本日は臨時総会も予定されています。いろいろな状況の中でも、みなさんのより積極的な行動で、これからの青年協会を共に創って行きましょう。

2月100%例会&臨時総会 開催

平成12年2月21日ホテルニュー長崎に於いて例会と臨時総会が行われた。

まず、会長挨拶のあと、役員報告、委員会報告、同好会報告と続き、「年男(辰年)・今年の抱負」があった。出席した年男が、それぞれ今年にかける思いを言葉にしながら抱負を語った。それから、新人へのインタビューが原例会委員長とのかけあいで始まった。手帳に記入されてある趣味や仕事についての質問に答える新人達は、頼もしくもありユーモラスでもあった。ここで例会第1部が終了し、平成12年2月臨時総会となった。議長に西崎君、議事録作成人に山室君、議事録署名人に伊藤君、仁藤君が選任され、全会員96名中、出席者63名、委任状15名 合計78名の出席で臨時総会成立宣言により総会がはじまった。第1号議案の平成12年度役員選任の件では、次年度地島会長が事務局長に渋谷見君を指名。全員一致で異議無く拍手をもって承認された。例会第2部では、1分間スピーチが行われ家族や仕事、はたまた鹿児島弁や韓国語にいたるまで多方面にわたる題目による1分間スピーチで、会場を笑いの渦に巻き込んでいた。言葉・話し方はその人となり、考え方を表す重要な要素だと思う。日頃たくさんの人の前で話すことが少ない私達にとって、例会場での発言は貴重な体験になったことだろう。



委員会出席賞獲得までの道

(2月例会)

	企画推進室	総務	例会	広報	交流	研修	会員開発	地域事業	特別事業	地域社会	企画	役員
例会出席者数	4	5	8	6	4	2	5	4	8	5	8	12
委員会総数	5	7	10	7	7	6	6	8	9	9	9	12
出席率(%)	80%	71%	80%	86%	57%	33%	83%	50%	89%	56%	89%	100%

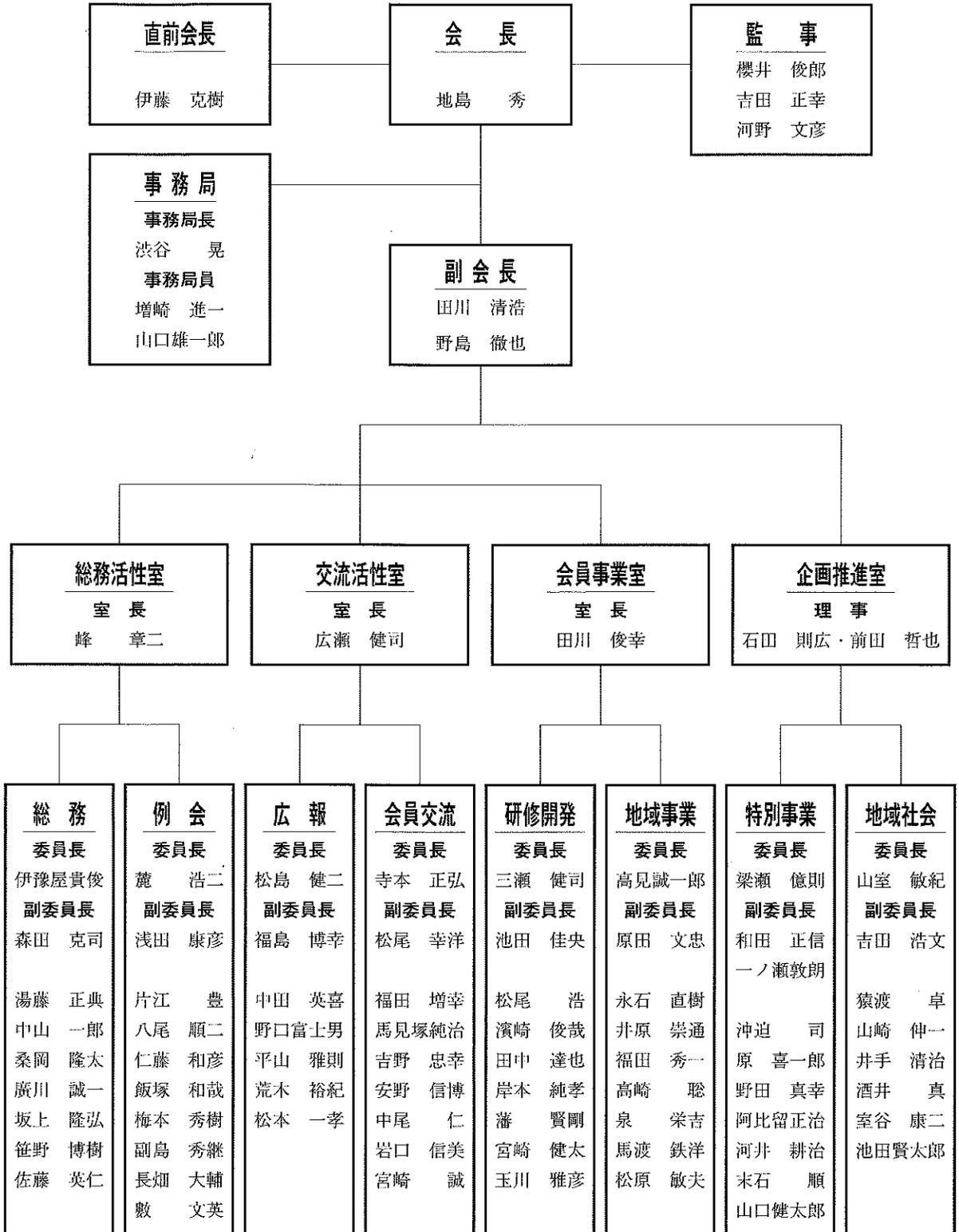
今回の100%例会は、会員96名中、71名の参加(74%)だった。しかし、欠席者からも仕事、出張、開店準備等々…の電話連絡があり、現会員の意識は100%だと感じた。

みなさんの100%の出席、どうもありがとうございました。

3月の『卒業を送る夕べ』も100%の意識をもって望みましょう。

例会委員長 原 喜一郎

2000年度 社団法人長崎青年協会組織表



1999 新人研修 体力測定&ふうせんバレー体験

2月13日(日)式見高校にて新人たちの新人研修事業「体力測定&ふうせんバレー体験」が行われた。まず、午前の部では、「体力測定」を実施。

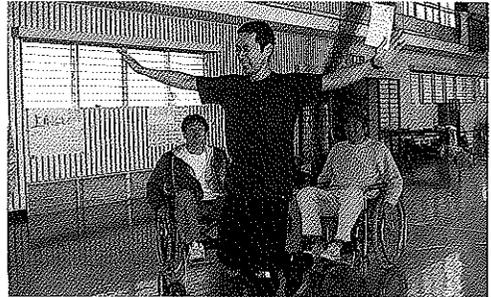
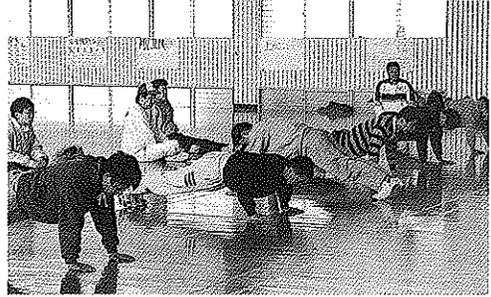
閉眼片足立ち、反復横跳び、腕立て伏せ、上体起こし、上体反らし、立位体前屈、垂直跳び、12分間走を行った。競技が始まると久しぶりに体を動かす協会会員が多く、反復横跳び、腕立て伏せ、上体起こしは、さすがにつらそうな顔をしてがんばっていた。そして、待ちに待った!?最後の種目、青空の下での『12分間走』。200mのトラックを12分間走り続けることは、学生の時から、ほとんどなかったのではないだろうか?また、走り始めてからの1分1分が、今までの人生の中で一番長く感じたのは私だけだろうか?

しかし、そこは青年協会魂をフルに発揮し、苦しい中、全ての力を振り絞って精一杯走り続けていた。

お弁当タイムを挟んで、午後の部では、「ふうせんバレー」を体験した。長崎ふうせんバレーボール振興委員会、「ドリームハート」チームの方々をお招きし、全体を6チームに編成した後、各チームにお一人参加して頂いた。また、協会会員も各2名づつ車いすのついでふうせんバレーを体験することになった。

体験というよりも試合が始まると1点1点に集中し、選手は回転レシーブありスーパーアタックありとまさに大熱戦。ふうせんバレーのおもしろさを体感することができた。

今回の企画をとおして、今まで接することがなかった人々とのふれあいや体験したことがなかった車い



よくできました!! 新人達のガッツポーズ

すでのふうせんバレーなどは、今後私達の人生の宝になると思う。また、設備、環境などのバリアフリーはもちろんのこと、ただ相手をいたわるだけではなく、まず身障者に対して持っていた自分の壁を捨てること、心のバリアフリーを心がけていくことが大切だと思う。

今回お手伝い頂いた方々、参加された会員のみなさまありがとうございます。

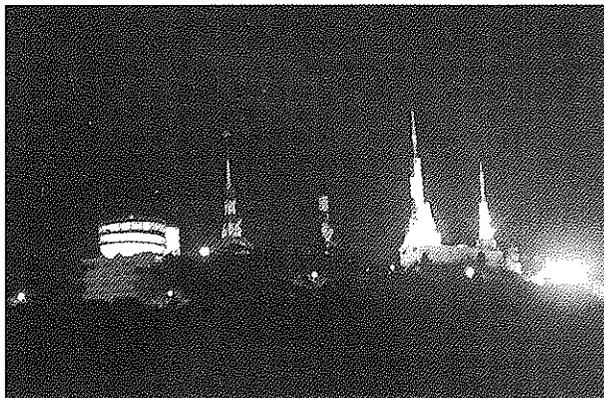
(新人研修を終えて)

野島会員開発委員長より新人だけで事業を行うと聞いて、会議が始まったのは7/28だった。ひと月ごとの会議で内容が決まっていた。新人が団結して意見を出し合い、時には、馬鹿話をしながら事業を作り上げていく。これが青年協会だと実感した。先輩方が事業に思いをぶつけてはまり込むのも判る気がした。貴重な体験をどうもありがとうございました。

新人研修サブリーダー 荒木裕紀

稲・佐・山・的・燈・會 長崎ランタンフェスティバル2000「華」

今年で4回目となる「稲佐山の燈會」が、ランタンフェスティバル期間中の2月5日から2月19日まで行われた。毎年気になる稲佐山に浮かびあがる文字やイラストは、今年は「華」という文字だった。それは、稲佐山の展望台の下にとっても大きく、クッキリと姿を現し、ランタンフェスティバルが行われている長崎の街並みに文字通り華を添えるごとく、長崎の夜景に一つの名物を作り出した。



阿比留正治特別事業委員長にインタビュー

Q 1. 「華」という文字は、どうでしたか？

とてもよかったと思う。文字がクッキリ見えて、五重丸に花丸くらいやってもいい。

Q 2. 苦勞した点は？

とりあえず1回つくってみたが、「くさかんむり」の部分が弱く、風対策が大変だった。

Q 3. ランタンフェスティバルを終えて

ホッとした。今回の稲佐山の「華」という文字を見てみんながやってよかったと考えてもらえたらうれしい。

Q 4. 会員に一言

みなさまのご協力があり無事成功したと思います。ご協力有り難うございました。

「日蘭親善ちびっ子大使実現に向け チャリティーバザー開催」

2月18日(金)・19日(土)観光通りにて「日蘭交流400周年記念事業 日蘭親善ちびっ子大使」を成功させるため、チャリティーバザーが行われた。

初日は天気にも恵まれ、またランタンフェスティバル期間中でもあり大盛況!!開店前から人が集まり、会員の協力で集まった商品がチャリティーのためにと思うみなさんお気持ちで売れていった。買っていただいた方の中には、「お釣りはいらさないから募金するよ!」とってくれる方も大勢いて感謝、感謝の一日間でした。最初は、「いらっしゃい」もいえなかった会員も一時間もするとしっかりと商品説明までできるプロの売り子になっていた。しかし、二日目は、初日とは大違いでお天気が悪く、あいにくの雨模様。気温も低く、「寒い、寒い」と言いながらも、協会員必死の売り込みで無事に完売。バザー終了となった。まだまだ、日蘭親善ちびっ子大使実現に向け準備は、はじまったばかり。しかしあつと

いう間に
8月ばつ
てきます。
これから
も会員の
団結と相
互扶助の
精神の基
にがんば
りましょ
う!



会員から学ぼう / 『クッキー』の巻

「エーワン洋菓子店」の浅田康彦君から学びましょう。

会員から学ぼう第4回目は、ホワイトデーが3月14日ということで、クッキーの焼き方をご紹介します。

(材料)

フレッシュバター	180g	グラニュー糖	220g
全卵(から無)	180g	薄力粉	420g
生クリーム	30g	バニラオイル	少々
ベーキングパウダー	6g		

(準備)

フレッシュバターは、前の日に冷蔵庫から出しておく。できれば部屋の暖かい所がよい。

(作り方)

フレッシュバターにグラニュー糖を入れてよく混ぜる。バニラオイル、塩をお好みで入れて混ぜる。ホイッパーでほぐした卵(全卵)を少しずつ少しずつ入れて混ぜる。この時、卵を一度に入れると生地が分離しやすくなるので気をつけながら少しずつ入れる事。(混ぜながら)薄力粉を少しずつ入れる。薄力粉を入れてしまい生地がまとまったら、クッキー生地の出来上がり。鉄板に油を薄く塗り、お好みでしぼり袋でしぼって焼く。

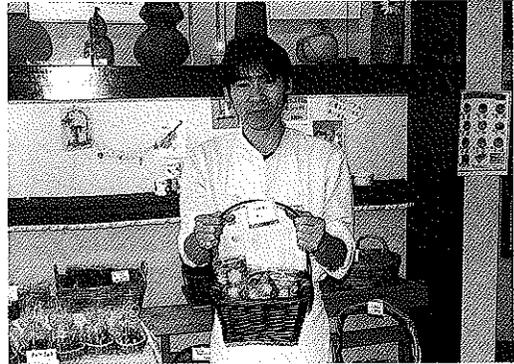
窯(オープン)の温度 上 160° / 下 185°

焼成時間: 約15分~20分

注1) 鉄板がテフロン加工であれば油を塗る必要はありません。

注2) 油はフレッシュバターを塗るとよいですよ。

これであなたもクッキー職人に早変わり! このレシピを見てご家庭で焼いてみては如何ですか?



「話題にダブルクリックVOL.8」(ニュースな言葉)

「総括」

好評の? ダブルクリックも最終回となりました。「広報誌がただの報告書になってはおもしろくない。」「広報誌から広報委員会から何かを伝えたい、投げかけたい」との思いでこのコーナーをやってきました。

【**臓器提供意志表示カード**】賛否ではなく、この問題について青年協会で、家族で考えるきっかけとなればと思い取り上げました。

【**献血**】ボランティア団体? といわれる青年協会。一番身近なボランティアを知ってほしかった。

【**バリアフリー**】【**ノーマライゼーション**】言葉を知るとともに、その中にある深い意味を考えてほしかった。

【**介護保険**】【**環境グリーン購入**】【**男女雇用機会均等法**】【**長崎市環境基本計画法**】行政がめざしているもの、行っているものを青年協会会員として知って置いてほしかった。

【**NPO**】青年協会がボランティア団体として歩んでいく道標として、青年協会の存在価値、また存在の重要性を説いてみました。

以上の思いで書いてみましたが、私自身調べていくうえでいろんな勉強をさせていただきました。ご協力いただきました諸団体の皆様ありがとうございました。

「よう読んどらんやった!!」という方は、私たちの問いかけをもう一度読み直して頂ければと思っています。みなさんも日々話題にダブルクリックしてみても……

お父さんの通知表

最終回は、我が長崎青年協会・今年度会長伊藤克樹君のところにおじゃまして、長男冬馬(とうま)くんと長女穂波(ほなみ)ちゃんの二人から見たお父さんを10の質問で採点しました。

「パパについて5点評価で正直に答えてね!!」

	質 問	冬馬くん	穂波ちゃん	理 由
Q 1	一緒に遊んでくれますか?	3	3	休みの日にキャッチボールとかスキーに連れていってくれる
Q 2	家族のみんなにやさしいですか?	4	5	あんまりおこられないけど、ケンカしたときにおこられる
Q 3	勉強を教えてくださいませんか?	3	2	算数とか時々教えてくれる
Q 4	カッコイイですか?	4	4	ひげがあるからマイナス1点
Q 5	よく話をしますか?	2	4	家にいないからあまり話す暇がない
Q 6	お酒、たばこを飲みすぎませんか?	4	4	タバコは吸わない。お酒は外で飲むから
Q 7	家の手伝いをしますか?	1	1	ほとんどしない
Q 8	相談にのってくれますか?	3	4	あまりしないけどこれくらいかな
Q 9	明るく楽しいですか?	5	5	(考えこんで二人とも5点)
Q 10	お母さんと仲がいいですか?	3	2	家ではあまりしゃべらない
	総 得 点	32	34	2人の平均は、3.3点です
	平 均 点	3.2	3.4	

伊藤ファミリーは、奥様玲子さん、長男冬馬くん、長女穂波ちゃんの4人家族です。冬馬くんは、諏訪小4年生。体育と図工が得意だそうです。今年は、銀屋町の鯨太鼓の太鼓打ちでおくんちにでるそうで4月からは本格的に練習がはじまるということです。穂波ちゃんは、保育園でお絵かきや本読みが大好きなかわいい女の子でした。

質問には、宿題を考えるよりも真剣な顔で点数をつけ、時には兄妹顔を合わせながら思案していました。点数的にはやはり会長職が忙しかったこともあり少し家族とのコミュニケーション不足なところが点数を下げたかなと感じました。

伊藤会長から子供に対して一言「自由奔放に生きてほしい。が、今まで自由になっているから少し引き



締めないととも思う」奥様に一言「今後とも家庭をよろしく願います」とのことです。最後に奥様から伊藤会長に一言「大まじめに言えば、忙しすぎるのを見て健康面が一番心配だった。これからは、健康に注意して、10の誘いの内、3くらいは断っておつきあいしてください」とのお言葉を頂きました。

残すところ会長の任期もあとわずか！健康に注意してがんばってください。

左から 伊藤克樹君、冬馬くん、
穂波ちゃん、奥様玲子さん

新人紹介

～ようこそ長崎青年協会へ～

配属：例会委員会



氏名：數 文英 君
生年月日：昭和42年4月1日
血液型：A型
勤務先：長崎電通(株)
趣味：仕事
ニックネーム：KAZU

～結婚おめでとう うございます～

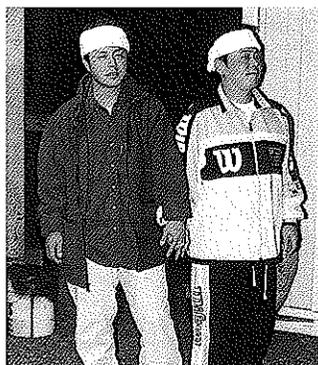
室谷康二様、直美様
平成12年1月23日 ご結婚
一言「二人で力を合わせて
がんばります」



「ぼくたち なかよしふたりぐみは、だれでしょう？」

正解 左：伊豫屋貴俊君／右：森田克司君

多数のご応募ありがとうございます。下記の方の解答が正解でしたので、豪華賞品を贈らせていただきます。



子供の頃を思い出して手をつないでもらいました。

当選者 吉野忠幸君・三瀬健司君・吉田正幸君

表紙のご紹介 (下段は勤務先)

岩満 克弥君 (份)宝栄印刷 S.34.8.3(O)	城谷 富好君 (份)ジュエリーサロンフローレス S.34.9.28(O)	清水 昭雄君 鶴屋企画 S.34.12.17(B)
木屋 祐輔君 (份)お酒の木屋 S.35.2.3(B)	林田 秀夫君 林田電化サービス S.35.2.16(O)	鶴長 達真君 長崎石油プロパン(株) S.35.2.22(A)
西崎 達也君 (份)シビル・エンジニアリング S.35.3.18(O)	數 文英君 長崎電通(株) S.42.4.1(A)	完

～1年間ありがとうございました～

今年1年間、広報委員会は、広報誌を協会史として、また会員交流誌と位置づけ活動を続けてまいりました。会員の皆様やご家族の皆様にご協力いただきここまでこれたと感謝いたしております。誠にありがとうございました。

1999 広報委員会メンバー



編・集・後・記

先般、事務局へ立ち寄り過去の広報誌のページをめくって見た。さまざまな事業が企画され、実行されてきた。私が入会してから10何年かの出来事が、ついこの前の事のように頭の中を巡った。そして次のようなことを思った。

今の事業の中には、何年となく継続して行われている事業がいくつかある。継続事業を担当する委員会は、毎年毎年頭をひねり、前年度よりさらによりよい事業をと企画する。その企画力、行動力には協会のパワーを感じるが、先輩方が残してくれた**いいもの**を忘れていないだろうか。これは、事業だけに限ることではないと思う。21世紀を期にもう一度過去を振り返り、是非先輩方が残してくれた**いいもの**は**いいもの**として継承していただき、さらなる飛躍を期待します。

最後に、卒業まで在籍できたことに対し、協会員の皆様にご挨拶申し上げます。有り難うございました。